

# 平成28年度 佐久長聖高校 学校関係者評価

評価 A：十分できている B：概ね十分できている C：普通である D：不十分なところがある E：ほとんどできていない

分野	評価項目	評価の観点	評価	内容
学習指導	授業内容の充実	1 授業評価を適宜行い、その内容を踏まえて授業の方法を工夫・改善して、生徒の学ぶ意欲を喚起しているか。	B	・基礎力不足の生徒の意欲喚起の諸方法を研修し共有する。・学習指導の工夫が定着度や学力の伸びと結びつくようにする。・生徒の興味を引き出す教材研究に努めてほしい。
	教科指導力の向上	2 研究授業のほかに教員相互の授業参観や相互批評をしているか。アクティブラーニングの手法を試みているか。	C	・日常の相互参観を積極的に行い、自らの授業に行かしてほしい。・アクティブラーニングを成立させる生徒自身の素養(基礎知識・聞く読む話す力・調べる力など)も育てていく必要がある。
		3 各種の模試・検定などの客観的データを教科会や各自分で分析し、生徒の学力に応じた授業を行っているか。	B	・模試の後ではなく前の学習に繋げ、生徒自身の手ごたえとなるような指導方法を共有する。・英語検定合格率を上げる学校全体の取り組みは重要だ。・TOEFLにも意識を向け、受検者数と得点を伸ばす取り組みに期待する。
	学習習慣の確立と自主的な学びへの導き	4 (学級担任として) 生徒の学習状況・学習時間を把握し、面接によって個々に即した適切な助言をしているか。	B	・生徒自身が記録や計画を通して、自分のスケジュール管理ができるようにしていくよう助言してほしい。・生徒と話した内容を保護者とうまく共有すること。・面接の質を高める努力をしてほしい。
		5 (教科担当として) 学力や時期に応じて質的・量的に適切な課題を出して、日々の学習や計画的学習を促しているか。	C	・「質」が大切な生徒、「量」が大切な生徒、各々の実態に合う課題を出していくこと。・計画性を高め提出期限が守れるようにすること。
		6 生徒のタブレットPC利用を促すような 学びの課題や機会を、工夫して提供しているか。	D	・授業の中で使用するよう教員全体の足並みがそろうことが重要。・生徒が継続的に探究できるようなテーマを提供し、発表の場も設けること。・家庭のネット環境および利用状況の把握をすべき。
進路指導	希望進路の実現	7 学級担任・教科担当として3年間を見通した指導をしているか。学年会・教科会がそのために機能しているか。	B	・大学入試改革への移行期なので、従来通りの学力・得点力と、新しい学力の伸長の両方を大切にしなければならない。
進路指導	新しい時代を展望できる進路指導	8 社会への視野を広げ、自分の人生の目標を考える機会としてのキャリア教育を、計画し、実施しているか。	C	・1学年からの計画的な実施すること。・学校として系統的に行うものと、いろいろな仕事をしている卒業生を招き対話するような小回りのきくものとの両面で、機会を増やしてほしい。
生活指導	自律的生活の育成	9 服装・挨拶など生徒の自律的取り組みを促しているか。モラルや思いやりにつながる、心の指導をしているか。	B	・問題行動はなくても、日常的に意識しないとモラルは低下していくので、教職員自身の意識を高く持って、時と場合に応じた指導を全教職員ができるようにしてほしい。
	生徒相談といじめの発見・対処	10 担任・学年・部活顧問・館職員・生徒指導係等が連携を取りながら、適切に生徒相談に当たっているか。	A	・連絡の漏れがないようにすることが重要。・生徒第一に考えて対応とともに、保護者への連絡・報告も遅くならないように対応してほしい。
		11 現在の「いじめ」の定義に基づいていじめを認知し、職員間で情報を共有して適切に対応しているか。	A	・大きな事案はなくなってきても、油断せずに発見・対処、事後の見守りや助言をしてほしい。
	安心・安全を守る指導、安全を考えさせる指導	12 校内の安全点検や日常の目配りを重視し、事故や危険を防止できているか。	A	・工事に関わらない箇所も含め、安全対策には引き続き留意してほしい。
13 校外での交通安全や防犯(インターネットによるトラブルの回避も含む)についての指導をしているか。		C	・自転車や列車のマナーや安全の指導は継続的に行ってほしい。・ネットトラブルに対する意識を高めるために継続的な指導と情報提供をしてほしい。	
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	14 保護者や地域の方の意見・要望をくみとり、必要なことには、すばやく、的確に対応しているか。	B	・生徒のために対処すべきことには最優先して取り組む。保護者の方とのコミュニケーションを日常的なものにしていくことが重要。・クラス通信にはクラスによるバラツキが出ないように努めてほしい。
		15 電子媒体や紙媒体を通して、各種の情報を生徒・保護者や一般に向けて、定期的に提供しているか。	B	・Classiの利用を拡大するために、どの教員・学年でもできるように研修してほしい。・ホームページの更新に努めてほしい。
		16 地域の方や校外の団体等と交流できる機会を、生徒に提供しているか。学校として交流に寄与しているか。	B	・地域の催しやボランティアの情報を広く提供し参加を促すことは意義がある。